

『ぼくのクリスマス(仮)』

作：安依

登場人物

少年

母

マリア

ヨセフ

羊飼い1

羊飼い2

東方の博士1

東方の博士2

イエス(声のみ)

羊1

羊2

羊3 ※羊役は小さな子供でもよい。

シーン1(家の中)

少年がとぼとぼ歩いてくる。

少年 クリスマスカ。皆たのしそうだなあ。僕、全然うれしくないや。

うちは貧乏だし、お母さんは仕事してるし、パーティーなんてしたことない。

(紙を取り出す)

今日のテスト全然だめだったなあ。また、お母さんに怒られるのかな。

僕がダメだから、うちにはサンタさん、来ないのかな。

母、家に帰ってくる

母 ただいま。あゝ疲れた。

少年 (慌ててテスト用紙を後ろ手にかくす) お、おかえり!

母 あゝあ、ご飯作らなきゃ。あれ?何これ(と、テスト用紙を取り上げる)

少年 あ!!

母 なーにこれ!30点!?バカねえ、なんでこんな問題もできないの?

こんなんじや、サンタさんからプレゼントもらえないよ!

少年 いいもん!サンタなんかホントはいないじゃないか!

(テストを奪い返した拍子に、母の荷物が激しく落ちる。中から、おもちゃがポロリとでる。壊れている)

母 ちよっと、せつかく買ってきたのに何するの！

少年 ……うるさい！お母さんなんか、大キライだ！

(少年、家を飛び出してしまふ)

母 ちよっと、待ちなさい！！

(母、少年を追う)

シーン2 (タイムスリップ)

少年 はあ、はあ (走りこんでくる)

ここ、どこだろ。もう、外が真っ暗で、迷子になっちゃった。

いいや、どうせお母さんは、僕の事なんて心配してないんだ。(座る)
はあく疲れた。なんだか眠くなってきちゃった。

(少年、横になろうとする)

魔法の音が鳴る

少年 (眠たそうに) 羊が一匹・・・

(羊1が、少年の前を横切る)

少年 羊が2匹・・・

(羊2が、少年の前を横切る)

ん？羊？！(起き上がる)

(羊3が走りこんできて、少年のキャップをとって逃げる)

少年 あ！！ちよっとまってよ！！！！

(少年、羊を追いかけて去る)

シーン3 (馬小屋)

(マリアとヨセフと生まれたばかりのイエスが、馬小屋にいる。

そこに、少年が駆け込んでくる)

少年 まて〜！あれ？確かにここに来たと思ったのに。

うわあ、くっせ〜く〜！なんだ、ここ。豚小屋？馬小屋？
あれ！誰かいる！

(マリアとヨセフ、少年に気がつく)

マリア　こんにちは

ヨセフ　こんにちは

少年　こんにちは・・・こんなところで何してるの？

ヨセフ　ここに、泊っているんだよ。

少年　え？こんなくっさいところに？だって赤ちゃんもいるよ？

マリア　そう、たった今生まれたのよ。

少年　え〜？！ここで？

(そこに、羊飼いたちが入ってくる)

羊飼1　あ！いたぞ！

羊飼2　本当だ！

ヨセフ　あの・・・あなたたちは？

羊飼1　おいらたちは、羊飼いだ。

羊飼2　さつき、その野原で天使があらわれて、おいらたちの待っている

救い主がお生まれになった、と教えてくれたんだ。

羊飼1　その赤ちゃんは、布にくるまって飼葉おけに寝ているって。

羊飼2　本当に、天使の言っていた通りだ！(羊飼いたち、手を取り合って喜ぶ)

少年　救い主？

ヨセフ　そう、僕たちユダヤ人は、ズーっと昔から奴隷になったり、差別されたりしてきたんだ。だから、救い主が来るのを待っていたんだよ。

少年　ユダヤ人？あれ？ここ日本じゃ・・・

(そこに、東方の博士が入ってくる)

博士1　すいません、ここに幼子はいらっしゃるか？

マリア　はい・・・この子でしょうか？

博士2　おお！ついに会えたユダヤの王だ！

(博士たち、羊飼いたちをおしのけ、イエスに駆け寄る)

博士1　申し遅れました、私たちは、星と未来を研究している者です。ある時、ユダヤの王が生まれるという星を発見しました。

博士2　それで、あの星を追って、ここまで旅をして来たのです。

博士1　どうぞ、このプレゼントを受け取ってください。(黄金、乳香、没薬などを渡す)

ヨセフ　こんな高価なものを・・・ありがとうございます。

羊飼1 すごいなあ！きっとおいらたちの人生、変わるぞ！
博士1 これは世界の大事件になりますぞ！
羊飼2 なんととっても、救い主だもん！
博士2 いやいやユダヤ人の王ですよ！（一同盛り上がる）
少年 ねえ、王様なのに、こんなところで生まれたの？
（一同ふと考え、イエスを見る。）
羊飼1 おいらたちよりも、貧しく生まれてきてくれるなんて
羊飼2 ありがたいなあ
博士1 なんと尊いお方じゃ。
博士2 この子の名前は？
マリア イエスといいます。
博士1 イエス様、うるわしい名前じゃ。
博士2 この方こそ、イエス・キリストじゃ！
（皆、感動の声をあげる）
少年 ん？イエス・キリスト・・・？どつかで聞いたことあるな。
うーん、あ！わかった！十字架にかかった人だ！
一同 え！？
少年 そうだよ！絵で見たことあるもん。イエスキリストって、こうやって十字架にかかって死んじやう人だよ。
羊飼1 おまえ、なんてこというんだ！
羊飼2 救い主だぞ！王様だぞ！
少年 だって、そうだもん。うそじゃないもん！
博士1 十字架といえば、一番残酷な死刑だぞ！
博士2 なんて無礼な奴じゃ！外へ連れ出せ！
（皆で、少年につかみかかろうとする）
羊飼3 （声）おい、大変だ！羊が逃げちまったぞ！
羊飼1 なんだって？大変だ！
羊飼2 すぐに、探しに行かなきゃ！
羊飼1 すいません、おいらたち羊を探しに行ってきます。
ヨセフ 気をつけて！
（羊飼いたちが、急いで礼をして、出ていく）
ヨセフ お二人は今夜はどちらにお泊りですか？
博士1 この近くに、宿をとりました。
ヨセフ では、そこまでお送りしましょう。
マリア 少しイエスを見ててくれる？

少年 ……うん

(博士1, 2, ヨセフ、マリアが出ていく。)

シーン4 (イエスと少年)

少年、皆を少し見送ってから、イエスの近くに来て座り、イエスを見つめている。

少年 なんだよ、皆でよってかかって僕を責めて！僕は間違っていないのに！

イエス (声) そうだね

少年 だ、だれ！？

イエス 君の言うとおりでよ。

少年 もしかして…イエス？

イエス 君の言うとおりで、私は大きくなってから、十字架にかかるんだ。

少年 そうなんだ。でも、どうして？

イエス 皆が天国に行くために、私が皆の罪を負うからだよ。

少年 罪を負う？

イエス 悪いことをしたり、人を傷つけたりしたら、罰を受けるし、天国へは行かない。

だから、代わりに私が罰を受けて、十字架にかかるんだ。

少年 それって、身代わりってこと？だれかの犠牲になって死ぬの？

イエス そうだよ。私は、そのために生まれてきたんだ。

少年 どうして？死ぬってわかってるのに、うまれてきたの？どうして？

イエス 君たちを愛しているからね。大好きなんだよ…。

少年 ……イエス

(マリア、ヨセフ、帰ってくる)

マリア どうしたの？

少年 ……僕ね、お母さんにひどいことをしちゃったんだ。うるさい、大キライって

言っ、飛び出してきちゃったんだ。

ヨセフ そうか。君は、どうしたいんだい？

少年 謝りたい。でも…お母さん、絶対怒ってるよ。きっと許してくれない。

マリア そんなことないわ。お母さん、きっと許してくる。

少年 そうかなあ。でも、怖いよ…。

マリア この子はね、皆にインマヌエルと呼ばれるんだって。

少年 インマヌエル？

マリア そう、神がともにいる、という意味なの。

ヨセフ 君も、神様が一緒にいてくれるよ。だから、勇気を出して、ごめんなさいって言

ってごらん。

少年 わかった。僕、本当はお母さんが大好きなんだ。だから、ごめんなさい、って言うってみる！

(マリア、ヨセフ、優しくうなづく)

(羊1 2 3が入ってくる)

少年 あれ？おまえたち！あ、これ僕の帽子だ！

(羊飼いたち、走りこんできて)

羊飼1 ああよかった！ここにいた！

少年 (羊たちに) おまえたち、迷子だったのか。

羊飼2 大切だからね。たとえ一匹だっていなくなったら、必死で探すんだよ。

羊飼1 (羊たちに) さあ、皆でうちに帰るぞ。

少年 よかったね！ 僕も、おうちにかえるよ！

(羊から帽子をとって、被る)

少年 さようなら！

皆 さようなら！

(少年、走り去る)

シーン5 (元の世界)

(母が心配そうに待っている。近所の人に電話をして訪ねたり…)

少年 ただいま

母 あ！どこいったの！心配したのよ！

少年 お母さん、……ごめんなさい！……！

母 ……いいのよ。……お母さんも、ごめんね。

少年 お母さん、許してくれるの？

母 当たり前じゃないの。お母さん、いつも怒ってるけどね、本当はあんたが大好き

きなんだからね。

少年 僕も、お母さん、大好きだよ。

母 ありがとう。(笑顔の和解) ……でも、どうして謝ってくれたの？。

少年 あのね……イエス様が生まれたからだよ。

母 え？

少年 イエス様が、僕の心にも生まれたんだ……。

そうだ！イエス様が生まれた日は、皆がすごく喜んだんだよ！

だから、お祝いしよう！

母 そうね、今日はクリスマスだし、一緒にお祝いしようか！夕食の準備 手伝

上演記録

2011年12月北方キリスト教会CSクリスマス会にて上演。

つてくれる？

少年 うん！

母 よし！（母、台所へ去る）

少年 （後を追いつ、立ち止まって振り返り）イエス様、ありがとう！（去る）

終わり